

令和元年度 鑑石園デイサービスセンター 事業報告書

1. 事業運営の概況

個々の利用者の身体状況及び生活環境に応じたサービス提供を基本として、在宅での生活が送れるよう残存機能の維持・向上を目指し、個別機能訓練の充実を図った。

また、地域密着型デイサービスセンターとして、地域との連携に努め、地域との交流を心掛けた。

稼働率については新規利用者の獲得ができず、施設入所や逝去される方がいたため登録数が減少し、目標稼働率 65%に対し 41.9%と稼働率の低下が著しかった。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質の向上

① 資格習得の推進

介護福祉士取得を目指し、質の向上を目指した。

② 職員教育と研修

職員不足のため外部への研修参加がなく、内部研修の充実を図り知識を高めた。

内部研修

4月	応急手当	10月	認知症
5月		11月	
6月	認知症	12月	自己評価
7月	感染症	1月	インフルエンザ
8月	AED	2月	
9月	ヒヤリ事例	3月	今年度の反省

③ 利用者との接し方

一人ひとりに寄り添ったケアを行い、丁寧な言葉遣いと利用者のペースに合わせた行動を心掛けた。

(2) 利用率・稼働率の向上

支援センターや近隣の事業者への訪問、おためし利用の積極的な受け入れを行ったが、新規利用に繋げることができなかった。

(3) リスクマネジメントの強化

- ・ ヒヤリハットをその場で報告することで、事故を未然に防ぐことができた。また、危険箇所や動作等、事故に繋がる可能性のあるものについては、ミーティングや朝礼で、その都度改善策・対応方法について検討を行い、改善に努めた。
- ・ ケアプランを基に、定期的に通所介護計画書を見直し、実施することができた。
- ・ 一人ひとりに合わせた個別機能訓練のプランを計画し、介護職員も協力して機能訓練を行った。また、屋外歩行訓練は脳の活性化にも繋がった。
- ・ 送迎を利用して職員と家族のコミュニケーションを大事にした。また、ご意見やご要望を真摯に受け止め、職員の対応等について改善すべき点は、職員間でお互いに注意し合うよう心掛けた。

(4) 地域との連携

- ・ 運営推進会議を定期的を開催することで、地域の方や家族に活動状況を報告し、要望や助言を聴く機会を設け、地域との連携や透明化に努めた。
- ・ 在宅サービスの職員と協力して、民協や地区の集会へ参加、パンフレットや広報紙を配布する等、情報を発信し交流を深めた。
- ・ 読み聞かせや踊り等のボランティアの皆様や、近隣保育園との交流を図り、大変好評で喜んでいただいた。

(5) コスト削減への取組み

職員同士、備品の取り扱いや節電等、無駄なものがないよう努めた。

(6) 災害対策

避難経路や避難訓練の実施、利用者の連絡先の確認を定期的に行い、災害に備えた。

(7) その他

職員の健康状態を把握し、送迎では常に安全運転を心掛けた。

年間行事

4月	屋外歩行訓練(桜・かぐや姫ミュージアム) ボランティア(ごんぎつね)
5月	屋外歩行訓練(バラ) ボランティア(ごんぎつね)
6月	屋外歩行訓練(ハス・不二家)、お昼作り ボランティア(ごんぎつね)
7月	屋外歩行訓練(イオン・買い物)、出前 ボランティア(ごんぎつね)
8月	屋外歩行訓練(ロゼシアター)、おやつ作り ボランティア(ごんぎつね)
9月	屋外歩行訓練(岩本山・夢庵)、おやつ作り ボランティア(ごんぎつね)
10月	屋外歩行訓練(かりがね堤) ボランティア(ごんぎつね)
11月	屋外歩行訓練(菊)、おやつ作り ボランティア(ごんぎつね)
12月	屋外歩行訓練(イオン)、クリスマス会 ボランティア(ごんぎつね)
1月	屋外歩行訓練(初詣)、お昼作り、おやつ作り ボランティア(ごんぎつね)
2月	屋外歩行訓練(寒桜)節分会、おやつ作り ボランティア(ごんぎつね)
3月	おやつ作り

*毎月実施:身体測定